

きほくのもり ペンタス通信



発行元

障がい者就労継続支援B型事業所
きほくのもり★ペンタス
〒436-0341 掛川市倉真830番地
TEL&FAX 0537-28-0954

https://kihokupentas.jimdofree.com
✉kihokupentas@gmail.com



Facebook

きほくのもり Webショップ できました♪

https://ninomiya-sontoku.jp/shop/



公益信託市川園社会福祉基金様のご支援により、きほくのもりWebショップがオープン。きほくのもり★ペンタスの製品購入やご寄付がインターネットで手軽にできるようになりました。



キウイの実を収穫するメンバー

静岡県立農林環境専門職大学の学生、柏原有作さんより、卒業研究に協力して欲しいと依頼がありました。研究テーマは「農福連携」。農業人口の減少と障がい者が活躍の場を求めていることを上手くマッチングさせることに興味があるという柏原さん。キウイフルーツカントリ―JAPAN様の協力を得て、ペンタス

キウイの収穫・選果で 大学生の卒研に協力で

消火器訓練をするメンバー

練。今年も掛川市消防本部



消火器や煙の体験で
しっかり防災訓練

メンバーがキウイの収穫・選果に挑戦し、健常者と比較してどのくらい作業できるか、モチベーションと作業効率との関係などを評価しました。

メンバーは、最初は無理やりキウイを引っ張ってしまふことがありましたが、



選果機にキウイを置くメンバーとそれを見守る柏原さん

すぐにコツを覚えて10分間に160個以上収穫する人もいました。選果機など動く機械を使う作業は初めてでしたが「面白い！」と目を輝かせながら丁寧にキウイを乗せていました。

中央消防署の皆様が救護工作車、指令車に乗って来て下さいました。消防士さんの指導の下、消火器の使用や煙の中の移動を体験しました。救護工作車に積まれている多種多様な道具を見させて頂き、実際どんな場面で使用されるか説明を聞

ハブ茶 ブレンド スギナが入って好評

ペンタスの人気商品ハブ茶ブレンド(700円)に今年スギナ茶を追加。スギナは髪や皮膚を強くすることと知られるヨウ素を含みます。ほんのり甘味があり好評です。

きました。メンバーたちはウキウキしながらも訓練には真剣に取り組みました。

また、今年も色々な出会いがあり、その一つのセルロースナノファイバー研究。綿等植物由来の原材料を使用して鋼鉄より軽く軽い素材で、自動車の車体でも採用実験が始まっています。当事業所の綿が富士市の実験に活用されています。このように利用者と共に事業所も成長できるよう職員・役員一同力を合わせ今後も励んで参ります。

成徳達材



理事長 戸塚久美子

今年も地域や支援者の皆様にご支援を賜り、大変感謝しております。利用者は二十人を越え、創始当時とはまた別の局面を迎えて、工賃も順調に伸びましたが、さらなる増収が求められます。このように就労継続支援B型事業所では新たなコトを創造する醍醐味があります。

社会体験

浜松の福祉事業所を見学

10月6日、社会体験で浜松の福祉事業所に行ってみました。最初に訪れたのはジュースを製造・販売している就労継続支援B型・就労移行支援事業所KuRuMi様。お仕事の紹介のビデオを視聴し、工場を見学。



KuRuMi様で工場の説明を聞きジュースを試飲する利用者

か？」など、質問をしていました。昼食は就労継続支援B型事業所グループスガールでいただきました。

デン様で食べました。同法人の自然農法の畑で栽培された野菜やこだわりのスパイスを使用したカレーや定食に皆笑顔でした。

ペンタスの綿の畑も8年目を迎えました。種まきから収穫、棉織りの一連の作業を学ぶワークシヨップのほか、花材としての販売も安定してきました。

セルロースナノファイバーの研究など

ペンタスの綿が注目の的

今年さらさら、意外な方面から注目して頂きました。SDGsの取り組みとして、オーガニックコットン原料としたセルロースナノファイバーを栽培して下さる方を募集しています。

綿の種取り作業を見学される青木教授と水上様



川総研社の石川社長様。「福祉と連携できるとより良い循環が生まれる」と、ペンタスの「コットンワークシヨップ」に参加して下さいました。静岡大学の青木先生と水上様も、ペンタスの活動に興味があるとして、見学に来て下さいました。来年は、さらなる研究活動に協力していく予定です。一緒に栽培して下さいます。

ーを研究されている石川総研社の石川社長様。「福祉と連携できるとより良い循環が生まれる」と、ペンタスの「コットンワークシヨップ」に参加して下さいました。静岡大学の青木先生と水上様も、ペンタスの活動に興味があるとして、見学に来て下さいました。来年は、さらなる研究活動に協力していく予定です。一緒に栽培して下さいます。

仕事で掘ったお芋を手作りランチで活用

収穫の秋。しあわせ野菜畑様からサツマイモやジャガイモのお仕事を頂き、収穫作業が好きなメンバーたちは喜んで畑に出かけて行きました。「作業が速い。去年よりも成長しているな」と大角社長様。お土産にたくさんのお芋を頂きました。

ペンタスでは毎週水曜日にカレーを作っていますが、仕事で掘ってきたお芋をみんなで食べてみたいと、芋ご飯と豚汁を作りました。食材の作り手と顔を合わせ、自分たちで収穫し、料理して食べる。食のありがたさを学ぶ貴重な経験に

しあわせ野菜畑様のサツマイモの収穫



メンバーも、進んで調理に加わり、「冬休みはおうちで作ってみたい」と意気込んでいます。



芋ご飯と豚汁



給食を作るメンバー

手作り給食を始めて半年。「包丁怖い」「火が怖い」と言っていた

もう12月です。利用者は少しずつ増えて、19人を超え日も出てきました。利用者が増えると、その人ができる作業やメニューを考えるようにしています。

毎週水曜日にカレーを職員と利用者で作って皆さんで食べます。とても好評で、カレーの日は出席率がいいです。ありがたいことにいろ

この頃のペンタス



施設長 伊藤泰治

いろなところから作業の依頼の話があり、利用者ができる作業が創り出すことができるのであれば、できる

限り受けています。利用者が増えるにつれて、新しい仕事も少しずつ増えていきます。その人の人の特性にあわせ、できること・楽しめることを取り入れてます。大変な作業もあり、職員の負担が大きいきもありますが、たくさん工賃をもらってうれしそうな利用者の顔を見ると、大変うれしくなります。

会員募集中

- 共に障害者が就労を応援して下さる方を募集しています。
- 【年会費】
- 1. 一般会員 3000円
 - 2. 賛助会員 個人1000円から
 - 3. 賛助会員 団体1万円から